

こんな活動です

# 地域の人や団体等がネットワーク化をして、地域全体で継続的な学びを展開。

愛知県西尾市

活動名

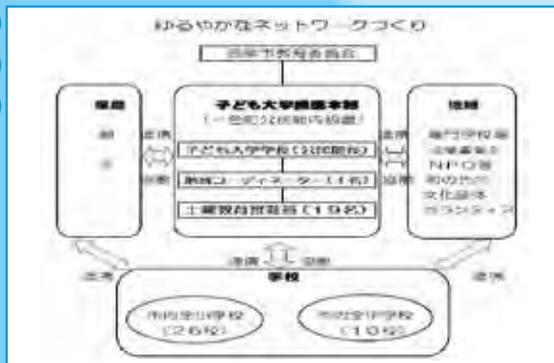
一色町公民館 子ども大学

関係する学校名

西尾市内全小中学校 (36校)

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日		委員数	児童生徒数	学級数					

体制図



**活動の概要・経緯**  
 学校週5日制が始まった平成14年度に、地域で子供たちを育てることを目的として開設し、本年度で15年目となる。土曜日の子供の居場所づくりとして、また、学校では学べないことや、自分の好きなことに取り組んで欲しいとの願いから、市内の全小中学生を対象に土曜日（講座によっては日曜日等）に、各種講座を実施している。講座は、一定期間に複数回実施する一般講座と、1、2回実施する特別講座がある。一般講座で出席率が7割以上の受講者には修了証を交付し、学習の励みにしている。また、5講座以上を修了した子には、子ども大学学長（公民館長）から、卒業証書を授与している。平成27年度末で修了証受領者2,587名、卒業者131名。応募者は年々増加している。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- ・町の先生や文化協会・ボランティア団体など、地域の身近な方々が「子ども大学」の講師となり、学校では学べない自然・文化・芸術活動などを展開している。参加者は、幅広い学問分野を学んだり、体験活動によって様々な技能を身に付けることができおり、地域全体で連携・協働して子供を育てる取組となっている。
- ・子供たちへのアンケートの結果等を踏まえて毎年講座内容を見直し、大変豊富で多様な講座編成となっている。
- ・市内全域の子供たちを対象として行われ、講座終了時には講座修了証を発行している。また、5講座以上の修了者には、子ども大学の卒業証書を授与している。
- ・子ども大学の卒業生は、市内の多くの場で活躍しており、子ども大学は、地域の生涯学習の基盤となる取組となっている。

### 【実施に当たっての工夫】

- ・小中学生を対象とした一般講座と、親子を対象とした特別講座を設け、対象に応じた多様な講座を用意している。
- ・各講座の開講式では、受講者や保護者に、子ども大学や各講座の趣旨を説明し、活動内容の周知を図っている。
- ・活動報告の場として、毎年「一色町公民館フェスティバル」に参加し、展示発表を行っている。
- ・特別講座は親子参加型の講座で、料理や工作、天体観察など、親子の絆を深める活動を展開している。
- ・東海・東南海地震の被害想定地域にあるため、地域と学校が連携・協働し、子ども防災ボランティアの養成や親子で防災意識を高める講座を継続的に実施している。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- ・小中学生を対象とするため、上級生は下級生をいたわり、下級生は上級生を目標とするなど、学校をこえた異学年交流の場となっている。
- ・クッキング講座では、受講者の声として「料理に興味をわき、家でも手伝いをしたい。」「僕の将来は、料理屋になることです。」などの感想があり、技能を高める貴重な体験活動の場となっているとともに、講座がきっかけとなって、後に管理栄養士となる夢が叶った子もいるなど、子ども大学がキャリア教育の場ともなっている。
- ・近年、中学生の参加も多くなり、講師の補助として、下級生の指導に当たる場面も増えてきている。
- ・子ども大学の卒業生の中には、17講座以上を受講した子も多くおり、子供たちの興味・関心の幅が広がっている。



おじぎの仕方を学ぶ（レッツ茶道）



茶わんづくり（子ども陶芸教室）